

事業経過報告書

令和6年度

社会福祉法人 清風会

日向市立 ひまわり寮

重点目標実績報告

令和6年度の重点目標

《ゆとりある生活環境の提供》

- ・6年度は施設内の活動を竹寮と松寮に分けて行ったことや、入浴を午前中に行ったことで、人的・場所的にゆとりが生まれ、ご利用者への目配り・気配りができた。
- ・職員側にゆとりができたことで、ご利用者の声に応える動きができるようになった。

《職員の育成促進と定着に向けた取り組み》

- ・外部のキャリアパスの研修を受講し、自身のキャリア形成についての意識を高めることができた。
(初任・中堅・リーダー)
- ＊職員の個人面談は実施できなかった。次年度以降の課題。
- ・メンタルヘルス研修への派遣(初任・中堅・管理職)を行った。伝達研修等で他の職員にもメンタルヘルスを良好に保つ方法や、意識の向上を図った。
- ・腰痛予防や事故防止を図るため、朝礼後に利用者と一緒にラジオ体操を行った。

《安心と安全を提供できる取り組み》

- ・利用者の転倒などで、居室の窓ガラスが割れることが数件あった。居室内の物の移動を行い、ご利用者の動線の安全確保を行った。
- ＊今後は窓ガラスの素材を、より安全な物に取り換えることの検討も必要
- ・ご利用者が処分を希望された物や、施設で不要になった物は、業者に依頼し処分するなど物環境整備を行った。
- ・不適切介護やスピーチロックが発生しないように、施設内で研修を行った。
- ・感染症(インフルエンザ)の発生時にはご家族等に、施設内の感染状況やご利用者の療養中の状況等の報告を行い不安の軽減を図った。

《安定した経営への取り組み》

- ・空床を解消するため自治体との連携を図ってきたが、5年度末より6月までに8名の退所があり、入所が追いつかない状況にあった。(入所については、日向市の入所判定会の後に入所希望者の紹介があるが、6年度第1回目の判定会は7月に行われた。)
- ・日向市から紹介された入所希望者については、個人の状態や希望を考慮しながらほぼ入所していただいている。
- ＊入所予定日直前の入所取り消しも2件あった。

《地域との連携》

- ・感染症対応時を除いて、買い物ツアーへの参加ができた。(自宅⇄イオン日向 / 自宅⇄マルイチ)
- ・五十猛神社大祭のパレードで、地域の方たち3グループが来寮され、楽しく触れ合う時間を持つことができた。
- ・移動図書館(日向市図書館)の利用を開始した。

【施設サービスの質の向上】

- * 継続入所者に関しては、ＡＤＬ及び認知症等の維持改善に努めるとともに、疾患の状況等に関して日々の経過観察及び主治医連携に努め体調管理を行った。
- * 退院前のご利用者については、入院先の病院関係者とカンファレンスや連絡を密にとり、スムーズに施設復帰が出来るようにした。状況はご家族にも随時連絡し、退院後の状況等についても連絡を行った。
- * コロナ感染症の感染状況を見ながら、外出・面会・訪問理美容の利用も可能とし、ご利用者の不満解消に努めた。また、できるだけご利用者の要望や意見を生活に取り入れて、気持ちよく生活できる環境を整えた。
- * 養護一般利用者については、生活支援の向上に繋げられる自立支援計画を作成し支援を行った。
- * 自治会での月刊誌などの定期購入は中止、移動図書館の利用を開始した。
- * 特定施設の利用者に関しては、生活ニーズに基づく施設サービス計画の作成及びサービスの提供を行ない、事故防止及び体調の管理を行った。

【職員の資質向上】

- * 外部研修に多くの職員が参加する事ができ、他施設の職員等との意見交換もできた。また、研修後に自施設での伝達研修も行い、職員全体の学びとすることができた。
- * 施設内研修では動画やDVD視聴等を取り入れ、分かりやすい研修を行った。
- * 支援員ミーティング及び、ケアカンファレンスを昨年度より充実させることができた。一方で、職員間の情報共有について不足するところがあり、ご利用者家族に不信感を持たせてしまう事例があった。7年度は、記録・連絡を密に行い、家族等の問い合わせに正確に応えられるようにしたい。
- * 資格取得に関しては、介護支援専門員（2名）が受験したが、不合格であった。

【入退所調整業務】

- * 1か月平均入所者数：54.42人（月平均入院者：1.17人）
新規入所は14名で、退所は10名と入所者が退所者より多くなったが、5年度末からの空床を解消するのに時間がかかった。6年度末は入所者数59名であった。6年度は骨折等の事故で退所される方はなく、死亡4件、家庭復帰や医療機関入院等の理由で退所されている。
- * 入所については、日向市の入所判定会が年に3回実施された。判定会後に入所希望者が紹介されるため、空床の期間が長くなった。
- * 6年度は、日向市以外からの入所はなかった。

実践事項

1, 相談援助

【家族連絡】

- * ケアカンファレンスの回数を増やし、ご利用者の状態について職員間で情報共有した。その結果をご家族にも連絡し、現在の状態に対する理解と今後についてのご希望等を伺った。（1件連絡及び情報共有が不十分なことがあった。）
- * ご利用者個人に必要な手続きや申請等についても、必要時にはご家族に連絡を行い、ご利用者の不利益にならないよう支援を行った。

【相談援助】

- * 日頃からご利用者に声掛けを行い、会話の機会を作った。良く話をしてくれる利用者とそうでない利用者がおり、訴えがない利用者の情報を収集する必要がある。
- * 自治会総会を3ヶ月に1回にして、意見交換の場を設定した。必要時には臨時的に開催した。
- * 一般の方からの入所相談や、見学の対応も行った。
- * ご利用者間のトラブル発生時には、双方の話を聞いて解決策の検討を行った。また、自治会においても、お互いが気持ちよく過ごすために、ご利用者自身も考えて欲しいとお願いしてきた。

【地域とのつながりを大切に】

- * 日向市社会福祉協議会と各福祉施設が協同でおこなっている『買い物ツアー』を、感染状況に応じて行った。
- * 五十猛神社例祭で行われるパレードを、施設前庭で観覧し、利用者と地域住民の触れ合いの場となった。
- * 県北ブロックのグランドゴルフ大会が行われ、利用者6名が参加された。大会前に延岡市の養護老人ホーム若葉荘との交流試合も実施することができた。
- * 日向市図書館の移動図書館の利用も開始し、ご利用者が図書館の職員と会話しながら本を借りる姿が見られた。

2, 日常生活介護

【専門職としてのプロ意識を持ち、根拠のある介護を行う】

入浴 : 感染状況に合わせて、入浴の順番の変更や中止を検討し、ご利用者に理解していただけるように説明を行った。前年度末より入浴の順番や時間帯について業務改善を行ってきたが、6年度は身体機能が低下した利用者についてもゆっくり入浴していただけるよう支援を行った。

入浴時には全身状態の確認を行い皮膚疾患や転倒等痕跡の確認を実施した。

皮膚疾患については、専門医へ受診し、指示を仰ぎながら改善に努めた。

*入浴日（女性） 月・木 / 水・土

（男性） 火・金

*一般浴室での入浴が難しい方については、小浴室でゆっくり安全に入浴支援を行っ

ている。

排泄 : 排泄チェック表の活用・職員間の連携をより充実させ、排泄の声掛けを行い失禁や便秘の解消を図った。日ごろから便秘がちな利用者については、声掛け、排便状況の確認を行っている。

移動 : 食堂への移動時の転倒リスクが高いと思われ、弱者（杖・歩行器・車いす等の使用者）を先に誘導し事故予防に務めた。感染予防対策として、竹寮と松寮の食事時間を別にしたため、食堂の出入りの混雑が解消され転倒事故も減少した。
ご利用者それぞれの歩行を補助する補助具と、安全に歩行できるための靴の選定を福祉機器の販売業者とともにに行った。

整容・口腔ケア : 声掛けやセッティングで、整容や口腔ケアの自立を促した。必要時には職員が義歯の洗浄や整髪・爪切り・髭剃りなどを行い、気持ちよく過ごしていただけるように支援した。

3, 日常生活の支援

【整理・整頓・清掃を基本に清潔で快適、ゆとりある心地良い環境の中で生活できるよう支援する】

- ・利用者個々へ傾聴・受容・共感的理解を示し良好な援助関係が築かれるよう努めた。
- ・利用者の意思を尊重するとともに、集団生活がスムーズに送れる様に周りの利用者との調整も行った。
- ・居室の清掃確認等を定期的に実施し、ご利用者と一緒に片付けや清掃を行った。
- ・居室内の物が多い利用者に対し、防災上の観点から物を減らしていただくようお願いしている。
- ・移動が困難なご利用者については、要望を伺い買い物の代行を行った。
- ・ご利用者それぞれの好みを把握し、コミュニケーションのきっかけとした。精神疾患のあるご利用者の中には、特定の職員に固執するケースもあり、他の職員と協力し適度な距離を保ちながら支援できる様にした。また、乱暴な態度や口調で他のご利用者に不快な思いをさせる利用者については、多職種間で何度も検討を重ねている。
- ・ご利用者の制作作品を展示したり、日常の様子を写真を掲示したりして、ご利用者の意欲の向上を図っている。

4, 機能訓練

【多職種と連携し、情報共有する事で適切なケア・機能訓練を提供する】

- | | |
|-----------|---|
| ・ ラジオ体操 | 月曜日～金曜日 朝礼後（談話室） |
| ・ 介護予防体操 | 竹寮・松寮それぞれの談話コーナーで（週1回） |
| ・ 口腔体操 | 竹寮・松寮それぞれの談話コーナーで（昼食前・各自） |
| ・ 各種クラブ活動 | 小グループを編成し、ご利用者の状態に合わせた活動を提供
（ちぎり絵・ぬり絵など、随時に実施） |

- ・ 歩行運動 施設前庭や周囲の散歩、施設内での歩行運動など、ご利用者の希望に合わせて実施)
- ・ レクリエーション ゲームを楽しみながら、頭と体を動かしていただいた。(年1回)
- ・ 下肢のマッサージ 希望者に対し、随時実施した。

5, 健康管理

【報・連・相を密にし、ご利用者に一貫性のある看護を実践する】

【家族及び他職種と連携をはかり、予防的看護を実践する】

- ・ 健康診断実施(4月・10月)実施。指摘のあったご利用者に対し、適切な受診に繋げた。
- ・ 瀧井病院・治田歯科・やまうち泌尿器科の、定期往診を継続した。
- ・ ご利用者への体調の聞き取りや、状態観察により体調の把握を行い、受診や状態観察を行った。
- ・ 薬の自己管理をされているご利用者に対し、服薬の確認と相談を行い、適切な服薬の支援を行った。
- ・ 在宅酸素療法が必要になったご利用者に対し、主治医の指示を仰ぎながら適切な対応を行った。また、職員に対し機械や酸素ボンベの使用方法や注意点についての指導を行った。
- ・ 受診結果や処方内容について、家族への連絡と他職種へ申し送りを行ってきたが、情報共有が不足したことが1件あった。
- ・ 感染症マニュアルをもとに季節性インフルエンザ・ノロウイルスその他の予防に努めた。
- ・ 新型コロナワクチン予防接種(希望者)
- ・ インフルエンザ予防接種(11/1)
- ・ 毎朝の検温(利用者)・出勤前検温(職員)の実施

6, 栄養管理

【おいしく安心安全で、ご利用者の楽しみに繋がる食事を提供する。】

- ・ 栄養指導の実施 : 過体重・低体重・高血圧・糖尿病など対象者への個別指導
*炭酸飲料や缶コーヒー等に含まれる糖分についての周知を行った。
- ・ 衛生管理の徹底 : 調理室・倉庫の清掃・消毒の定期実施、害虫駆除、検便
食中毒・感染症についての研修や他職種への指導
- ・ 嗜好調査及び個別対応 : 個別聞き取りの結果を献立に反映させ、代替食の提供も行った。
- ・ その他 : 各種研修会への参加・行事食の充実・適時適温給食の実施。
ご家族からの差し入れや、購入された食品について、食中毒の観点から施設に持ち込めない物についてをお願いをした。
災害時の非常食提供について、研修を行った。

7, 【事故防止・感染症対策】

- ・ 体調不良時の見守り強化、情報共有
- ・ 事故報告書・ヒヤリハット報告書の検討
- ・ 事故対策委員会、事故発生予防委員会、事故発生予防研修会の実施
- ・ 車いす・杖・歩行器・シルバーカーの定期点検

- * 6年度は骨折を伴うような大きな事故の発生はなかったが、特定のご利用者の事故が多く発生しているため、事故対策及び事故が発生しても怪我をしないような対策が必要。
- * 職員の業務時間帯・内容と見守りが手薄になる時間帯を検討・調整し、見守りの充実をはかり事故防止につなげた。
- * 自室での単独行動において転倒リスクの高い利用者については、ご家族への説明の元センサーの活用や、居室を変更しながら、未然に防ぐ取り組みを行った。
- * 事故発生の多い利用者の事故原因を検討し、居室内の導線、履物、見守り方法、内服薬等について検討しリスク軽減に努めた。しかし、ご利用者の危険認識力の低下、身体機能低下等などの要因から対応が難しいケースも多いのが現状である。

8, 【苦情への対応】

- * 苦情の件数は0件であるが、苦情につながるような問い合わせが1件あった。施設内で問い合わせの原因や対応について検討を行い、ご家族の不安や不満の解消に務めた。
- * 日ごろの挨拶・会話を大切にご利用者の要望・不満をすくい上げ、苦情に発展する前に解消できる様努めた
- * 本人の意向やできる事等を共有しながら、必要な支援について都度検討し職員の処遇にバラつきがでない様にする事で「あの人はここまでしてくれる」等の不満が出るリスクを軽減した。
- * 面会時等で家族と会話し、家族の思いを理解するように務めた。
- * 自治会等でご利用者の意見を伺い、解決できる事は早期に解決するよう努めた。

9, 【社会活動の参加と地域交流】

- * 日向市社会福祉協議会と日向市内の介護施設が協同して行っている「買い物ツアー」にて財光寺地区の高齢者の送迎を担当した。
- * 五十猛神社大祭で、地区の方にパレードで来寮していただいた。
- * 県北ブロックグランドゴルフ大会参加、及び若葉荘との交流試合実施。

10, 【環境美化・防災対策】

- * 環境整備に関しては常に清潔を保ち利用者が快適で安全に生活が送れるよう維持管理に努めた。
・施設内やご利用者個人から出された不燃物や粗大ごみは、随時処分し環境美化に務めた。
- * 防災対策としては日常の防災設備の整備・点検の実施・緊急時の連絡対策の整備を図るとともに、消防計画に基づき防災訓練を実施した。災害発生を想定し、BCP訓練も行った。

11, 事務管理

- * 資産・備品等の適切な管理と整備
- * 適切な管理による経費削減
- * 環境整備の強化
- * 車輛運行の安全管理
- * 防災対策への強化

1 2, 施設設備等

- * 公用車（軽自動車）1 台
- * 消毒保管庫（厨房用）
- * 浴室エアコン1 台
- * 家庭用全自動洗濯機 1 台
- * 居室の畳替え
- * ボイラー配管の漏水修理

《行事・催し物》

令和 6 年 度

月 日	内 容	特 記 事 項
4月18日	4月誕生会	焼肉
4月22日	訪問美容スマイル	希望者
4月30日	昼食選択食	井ぶり選択
5月11日	母の日プレゼント	和菓子
5月22日	5月誕生会	松花堂弁当（手作り）
6月 4日	訪問理容クローバー	希望者
6月12日	衣料品販売	カヤシマ
6月13日	6月誕生会	弁当（外注）
6月14日	訪問美容スマイル	希望者
6月15日	父の日プレゼント	和菓子
7月 5日	レクリエーション大会	利用者全員参加
7月11日	出前食（昼食）	利用者5～6名
7月18日	7月誕生会	うな重
7月24日	出前食（昼食）	利用者5～6名
7月25日	出前食（昼食）	利用者5～6名
8月 1日	訪問美容スマイル	希望者
8月 5日	訪問理容クローバー	希望者
8月13日	迎え火	希望者
8月15日	送り火	希望者
8月22日	8月誕生会	幕ノ内弁当（手作り）
9月12日	敬老祝賀会・9月誕生会	祝い膳折り詰め弁当 記念品（保険証ケース）
9月17日	訪問美容スマイル	希望者
9月19日	若葉荘とのグラウンドゴルフ交流会	利用者6名/職員3名
9月20日	出前食（昼食）	利用者5～6名
9月26日	県北ブロック養護老人ホーム親善グラウンドゴルフ交流会	選手6名/職員3名
9月27日	出前食（昼食）	利用者5～6名
10月11日	喫茶の日	ソフトクリーム（亀の子農園）
10月24日	10月誕生会	焼肉・鮎焼き
11月 1日	インフルエンザ予防接種	利用者/職員
11月 3日	五十猛神社大祭パレード観覧	希望者
11月 7日	衣料品販売	カヤシマ
11月 8日	訪問美容スマイル	希望者
11月17日	出前食（昼食）	利用者5～6名
11月18日	出前食（昼食）	利用者5～6名

11月21日	11月誕生会	松花堂弁当（手作り）
12月 9日	訪問理容クローバー	希望者
12月11日	大掃除	職員
12月19日～23日	冬至（ゆず湯）	利用者
12月20日	クリスマス会・12月誕生会	すき焼き クリスマスプレゼント
12月27日	訪問美容スマイル	希望者
1月11日	鏡開き（ぜんざい）	おやつ
1月23日	1月の誕生会	水炊き
2月3日	豆まき	行事食：巻きずし
2月12日	訪問理容クローバー	希望者
2月19日	2月誕生会	握りずし
3月13日	喫茶の日	ケーキ・飲み物選択
3月19日	3月誕生会	松花堂弁当（手作り）
3月21日	訪問美容スマイル	希望者

《 上記以外 》

- ・ 機能訓練（介護予防体操） 1回／週 ・ ラジオ体操 5回／週
- ・ 売店 1回／週 ・ 自治会総会 5回／年
- ・ 屋外散歩等歩行訓練 随時 ・ 屋外園芸活動・個別リハ 不定期
- ・ 体重測定・血圧測定 1回／月

*1/6～1/20 までインフルエンザ対応の為、行事は中止となった。

外部研修参加状況

令和 6 年 度

月 日	内 容	参 加 職 員
5月17日	社会保険事務担当者研修会	事務員
6月 6日	労務管理研修Ⅰ（リモート）	事務員
6月13日	労務管理研修Ⅱ（リモート）	事務員
6月20日	県北ブロック相談員研	生活相談員
6月20日	労務管理研修Ⅲ（リモート）	事務員
6月27日	労務管理研修Ⅳ（リモート）	事務員
7月 2日	会計・財務管理研修	事務員
7月 3日	メンタルヘルス研修 初任者	支援員
7月12日	課題解決力向上研修	支援員
7月23日	会計・財務管理研修	事務員
8月22日	介護現場のリスクマネジメント研修	生活相談員
8月23日	メンタルヘルス研修 管理職員	栄養士
8月23日	県北ブロック養護老人ホーム介護職員研修会	支援員
9月5～6日	福祉職員キャリアパス研修 管理職員	生活相談員
9月18日	社会保険制度講習会	事務員
9月21日	認知症疾患医療合同研修会	生活相談員
10月1～2日	福祉職員キャリアパス研修 中堅職員	支援員
10月8～9日	福祉職員キャリアパス研修 初任者	支援員
10月13日	介護支援専門員試験	支援員2名
10月17日	県北ブロック養護老人ホーム栄養士・調理員研修	栄養士・調理員
10月18日	実践力向上研修	看護職員2名
10月25日	県北ブロック事務員研修	事務員
11月 1日	利用者主体支援研修	支援員
11月12日	年末調整に関する事務講習会	事務員
11月14日	メンバーシップ研修 中堅職員	支援員
11月20～23日	全国老人福祉施設研究大会	施設長
11月27日	業務改善のすすめ方研修 リーダー	介護支援専門員
11月29日	業務改善のすすめ方研修 中堅職員	支援員
11月29～30日	県北ブロック施設長研修	施設長
1月 9日	介護支援専門員更新研修	主任支援員
1月14日	介護支援専門員更新研修	主任支援員
1月20日	介護支援専門員更新研修	主任支援員
1月24日	メンタルヘルス研修 中堅職員	看護職員
10月3日～4日	メンバーシップ研修 中堅職員	

1月29日	チーム力を高めるコミュニケーション研修 中堅職員	支援員
1月31日	プリセプター研修 中堅職員	支援員
2月 2日	介護支援専門員更新研修	主任支援員
2月 4日	会計・財務管理研修	事務員
2月 7日	給食研究会	栄養士・調理員
2月 8日	栄養士研究会	栄養士
2月20～21日	九社連老人福祉施設協議会 施設長会	施設長
3月 5日	就職説明会	施設長
3月14日	給食施設研究会	栄養士

各委員会活動報告

【事故対策委員会】

事故防止委員会： 年4回開催

- ◆事故報告書・ヒヤリハット報告書をもとに、事故発生時の検証及び防止対策について検討を行った。
- ◆事故の種類・事故の多いご利用者等について検討し、対策の周知を行った。

事故防止研修： 年2回開催

- ◆ひまわり寮の事故発生状況と対策について
- ◆介護現場における事故防止対策について

- * 事故報告書・ヒヤリハット報告書が提出された時点で、事故の内容について職員に周知し、ミーティング等で対応策を検討している。年4回の事故防止委員会では、期間中に報告された事故の再検討を行い、事故のリスクの高いご利用者について情報共有を図った。
- * 研修では、委員会で検討した高リスクのご利用者についての状況確認(事故防止対策の効果)を行い、事故対策の修正及び周知を図った。また、介護事故についての考え方(介護過誤/介護事故)。訴訟に発展する可能性のある介護過誤を予防する必要性についての重要性を周知した。
- * 令和6年度は介護事故が164件、ヒヤリハットが14件報告されている。そのうち130件が転倒事故であった。前年度より全体で34件、転倒事故については49件減少している。自治体に報告を要した事故は1件であった。
- * 事故報告に対してヒヤリハットの報告が少ない。
- * 入所の時点でのリスクの評価を行い、リスクについて家族と共有する。

【感染症対策委員会】

感染症対策委員会： 年5回開催

- ◆コロナ・インフルエンザ等についての感染予防や感染対応について、予防策の検討や感染時の対応手順等の検討を行った。
- ◆施設内での感染対応や感染対応解除についての検討。対応時の振り返りなどを検討した。(インフルエンザ)
- ◆食中毒やその他の感染症について、予防対策等の確認を行った。

- * 委員会では、BCP計画の見直しや発動時の役割分担等について職員に周知した。
- * 宮崎県内や日向保健所管内の、感染流行状況等の周知を行い、職員に注意喚起した。

感染症研修： 年4回開催(BCP訓練含む)

- ◆食中毒の予防
- ◆吐物処理の方法、準備物の確認
- ◆ガウンテクニック(実技)
- ◆ゾーニング(実技)

- * コロナ禍以降様々な感染症が季節を問わず流行しており、研修を通して職員の予防意識が高まるよう努めた。
- * 感染対応では、ガウンテクニックが必要となるため、実技を取り入れた研修を行った。
- * ゾーニングについても、基本の4パターンを元に、状況に応じて対応できるよう実技を行った。

【苦情解決委員会】

苦情解決に関する研修： 年1回(受講:施設長・相談員・事務員・栄養士・計画作成担当者)

苦情受付:0件

◆苦情受付は0件であるが、家族からの問い合わせが1件あった。

・施設内での情報共有の在り方について

同職種間・多職種間での申し送りができていないケースがあり、利用者とそのご家族に不信感を抱かせた。→今後は、施設内の申し送りを実際に行い、ご家族との連絡も密にするようにする。

【高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会】

虐待防止・身体拘束廃止委員会： 年4回開催(高齢者虐待防止委員会と身体拘束廃止委員会を一体的に開催)

◆認知症等の為、危険認識の薄い利用者の対応について

◆研修内容について

* 支援員だけではなく、必要時には事務所での見守りを行い、身体拘束することなく事故を予防する。

* 職員が意図せず身体拘束や虐待を行うことがないように、委員会で検討を行っている。

虐待防止・身体拘束廃止研修： 年2回開催

◆不適切ケアは虐待の始まり

◆接遇・マナーについて(利用者の尊厳を守るために)

* 施設内では職員による虐待や身体拘束に当たる事例は報告されていないが、職員が意図せず不適切なケアが発生しているかもしれない。研修を行い、各職員が自分のケアを振り返る機会になった。

* 接遇・マナーは介護の基本。なぜ接遇・マナーが大切かを再確認できた。

【危機管理委員会】

危機管理委員会： 年2回開催(BCP委員会と一体的に開催)

◆8月8日の地震対応の振り返り

◆BCP(自然災害)計画について

* 8月8日の地震:日向市震度3

人的・施設設備への被害はなし、ご利用者への声掛け、見守り等をおこなった。

* BCP計画の基本方針、推進体制、平常時・緊急時の対応、安否確認の方法等について確認を行った。

危機管理研修(BCP 訓練)： 年4回開催(2回は感染症)

◆日向灘沖地震想定(初動・避難誘導訓練)

◆日向灘沖地震想定(非常食提供訓練)

* 地震発生時にとる命を守る行動についての確認を行い、ご利用者を安全に誘導する訓練を行った。

* BCP 計画に沿って、現在の施設の状況について検討を行った。栄養士が不在の時も非常食を提供することができるように、非常食の備蓄量・場所・メニュー・提供手順等の確認を行った。

【ご利用者の生活の楽しみ・充実を考える委員会】

～今年度の取り組み～

- ① 食による楽しみの提供
- ② レクリエーションや余暇活動内容の協議
- ③ 利用者の声の代弁
- ④ 介護予防体操の取り組み

＊ご利用者の要望を伺って、出前食を提供した。職員と一緒にメニューを見て自分で決め、出前が届くのを楽しみにされていた。

＊レクリエーション大会の担当者とともに、計画し実施した。ご利用者は笑顔で参加されていた。

＊毎朝のラジオ体操(月～金)と介護予防体操(週1回)を行った。

＊施設内での売店(週1回)や衣類販売(年2回)、個別の買い物代行等で買い物の支援を行った。

＊職員の勤務状況や天候不順等で、ドライブなどの外出支援ができなかった。

【ご利用者の安心・安全を考える委員会】

～今年度の取り組み～

- ① 車いすの空気圧点検(月1回)
- ② ウォーカー・シルバーカーのブレーキ点検(月1回)
- ③ 食堂席の椅子の清掃・点検(月1回) 椅子のクッション洗濯(3ヶ月1回)

＊点検・清掃を行い、ご利用者が安全に気持ちよく過ごしていただけるように努めた。

【広報委員会】

～今年度の取り組み～

- ① ひまわり通信の作成・発送
- ② 掲示板の整理・ご利用者への情報提供・季節を感じる掲示等

＊ひまわり通信は年4回作成、ご家族や関係機関への送付を行った。

＊簡単な体操や健康管理に関する情報を、ご利用者の見やすい所に掲示した。また、施設内の壁面を使って、季節花の折り紙等で装飾を行った。

＊ご利用者が趣味で描かれた絵や写真を個展風に掲示し、ご利用者に喜んで頂いた。

【給食委員会】

給食委員会：月1回開催

＊衛生管理や業務及び、利用者の嗜好や健康状態についての検討を行った。

＊行事食や季節に応じた食事の内容等の検討や、提供後の振り返りを行った。

＊厨房内での事故予防対策や、調理器具の安全な使用方法についての確認を行った。

＊感染対策中及び感染予防の為に、食事の提供方法の変更等を多職種で検討した。

【レクリエーション実行委員会】

- * 納涼祭の代替えとして企画。ミニゲームを3種類準備、その中から2種類を選んで参加していただいた。その後食堂にておやつを提供した。進行の早いものと遅いものがあり、時間の調整が難しかった。どのゲームでも賞品(お菓子)が用意されているので、皆さん笑顔で参加されていた。
- * 年2回の開催はできなかった。

【敬老祝賀会】

- * 今年も来賓は招かずご利用者と職員のための式典となった。豪華な祝い膳といつもとは違う服装の職員に、ご利用者にも改まった表情が見られた。
- * 100 歳のご利用者 1 名をはじめ、90 歳以上が 15 名、平均年齢約 85 歳となっている。(敬老会時)

【施設内研修・会議実施状況】

令和 6 年 度

月 日	実 施 内 容	特 記 事 項
4月 12日	企画会議 ・ カンファレンス（1件）	
4月 22日	サービス担当者会議（1件）	
4月 24日	サービス担当者会議（1件）	
4月 25日	職員会議 ・ 身体拘束廃止/虐待予防委員会 ・ 事故対策委員会	
4月 30日	給食委員会	
5月 1日	サービス担当者会議（1件）	
5月 9日	ケースカンファレンス（1件）	
5月 13日	企画会議 ・ ご利用者の安心安全を考える委員会	
5月 16日	ご利用者の生活の楽しみ充実を考える委員会	
5月 20日	広報委員会 ・ サービス担当者会議（1件）	
5月 23日	職員会議	
5月 25日	サービス担当者会議（1件）	
5月 30日	感染症委員会 ・ 支援員ミーティング	
6月 1日	カンファレンス（2件）	
6月 7日	給食委員会	
6月 18日	企画会議 ・ カンファレンス（1件）	
6月 20日	サービス担当者会議（1件）	
6月 24日	サービス担当者会議（2件）	
6月 27日	職員会議	
7月 11日	事故対策委員会 ・ 感染症研修	
7月 18日	給食委員会	
7月 24日	企画会議	
7月 25日	職員会議・事故対策研修・身体拘束廃止/虐待予防委員会	
7月 30日	サービス担当者会議（3件）	
8月 6日	企画会議	
8月 28日	サービス担当者会議（4件）	
8月 29日	職員会議 ・ 身体拘束廃止/虐待予防研修	
8月 30日	事故対策委員会 ・ 感染症委員会	
9月 12日	給食委員会	
9月 17日	企画会議	
9月 22日	サービス担当者会議（3件）	
9月 27日	職員会議 ・ BCP（災害）委員会 ・ 伝達研修	
10月 10日	企画会議	
10月 12日	サービス担当者会議（1件）	
10月 16日	事故対策委員会	
10月 24日	給食委員会	

10月 25日	サービス担当者会議（1件）	
10月 30日	職員会議 ・ 身体拘束廃止/虐待予防委員会 ・ ハラスメント研修	
11月 11日	企画会議 ・	
11月 27日	職員会議 ・ 感染症委員会	
11月 29日	支援員ミーティング	
11月 30日	サービス担当者会議（5件）	
12月 3日	新入職員研修（1件）	
12月 12日	サービス担当者会議（1件）	
12月 13日	企画会議	
12月 19日	カンファレンス（1件）	
1月 6日	感染症委員会	
1月 20日	企画会議	
1月 29日	サービス担当者会議（5件）	
1月 31日	職員会議・事故対策委員会・身体拘束廃止/虐待予防委員会・カンファレンス（5件）	
2月 1日	新入職員研修（1件）	
2月 19日	給食委員会	
2月 22日	サービス担当者会議（3件）	
2月 24日	企画会議 ・ サービス担当者会議（3件）	
2月 28日	職員会議 ・ 事故対策研修 ・ 感染症委員会	
3月 8日	サービス担当者会議（2件）	
3月 16日	ケア記録の書き方勉強会	
3月 19日	ケア記録の書き方勉強会 ・ カンファレンス（3件）	
3月 20日	ケア記録の書き方勉強会	
3月 21日	ケア記録の書き方勉強会	
3月 26日	支援員ミーティング	
3月 25日	企画会議	
3月 27日	職員会議 ・ 身体拘束廃止/虐待予防研修 ・ BCP（自然災害）委員会	
3月 30日	給食委員会	

【その他の会議】自治会総会 不定期（年5回開催）

【敬老祝賀会】 令和6年 9月12日（木） （利用者・職員のみで実施）

【誕生会】 1回/月

【レクリエーション大会】 令和6年7月5日（金）

【出張衣類販売】 2回/年

その他行事等については、感染症対策を行いながら施設内にて実施。

【体験学習・実習・視察等 施設来寮状況】

月 日	団 体 名	特 記 事 項
6月12日	入所者現況調査（門川町：面談）	対象者2名
10月 8日	研修・視察（東臼杵地区広域福祉連絡協議会）	施設見学・質疑応答
10月25日	日向市福祉課 生活保護係 聞き取り	対象者2名
11月 3日	五十猛神社大祭パレード	前庭にて観覧
11月15日	入所者現況調査（日向市：書面報告）	対象者44名
11月16日	入所者現況調査（延岡：書面報告）	対象者1名
12月10日	諸塚村友愛訪問	対象者3名

【社会福祉施設に係る指導監査及び実地指導】

月 日	内 容	主 な 検 査 項 目	備 考
5月24日	内部監査	令和5年度会計及び事業監査	

【慰問・ボランティア・地域交流実績】

月 日	団 体 名	特 記 事 項
4月11日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（2名）
4月23日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（3名）
5月 9日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（2名）
6月13日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（2名）
6月19日	相乗りツアー（日向社協）	マルイチまで（1名）
7月11日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（1名）
7月23日	相乗りツアー（日向社協）	マルイチまで（2名）
8月 8日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（1名）
9月24日	相乗りツアー（日向社協）	マルイチまで（2名）
10月10日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（1名）
10月22日	相乗りツアー（日向社協）	マルイチまで（2名）
11月14日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（1名）
11月26日	相乗りツアー（日向社協）	マルイチまで（3名）
12月12日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（3名）
12月24日	相乗りツアー（日向社協）	マルイチまで（1名）
1月28日	相乗りツアー（日向社協）	マルイチまで（1名）
2月13日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（1名）
2月25日	相乗りツアー（日向社協）	マルイチまで（1名）
3月13日	相乗りツアー（日向社協）	イオンまで（1名）
3月25日	相乗りツアー（日向社協）	マルイチまで（1名）

【防災訓練実施状況】

日時	火点等	参加者
6月 27日	地震発生（日中想定）＊ＢＣＰ訓練（避難経路・北側門開閉訓練）	職員 10 名
6月 28日	静養室より出火 （夜間想定）	利用者 47 名 職員 11 名
7月 25日	ガウンテクニック実習＊ＢＣＰ訓練	職員 11 名
11月 25日	地震発生（日中想定）＊ＢＣＰ訓練（非常食提供手順確認）	職員 12 名
10月 31日	給湯室より出火 （日中想定） ＊総合防災訓練（職員連絡網の確認）	利用者 47 名 職員 13 名
1月 6日	感染症患者発生時のゾーニング実習 ＊ＢＣＰ 訓練	職員 13 名

令和6年度 入退所状況

入 所 者				退 所 者			
入所年月日	性別	年齢	入所前	退所年月日	性別	年齢	退所後
R6. 5. 1	女	84	有料老人ホーム	R6. 4. 1	女	92	養護老人ホーム
R6. 5. 31	女	81	有料老人ホーム	R6. 4. 9	女	93	特別養護老人ホーム
R6. 6. 20	女	100	自宅	R6. 4. 16	男	101	死亡
R6. 8. 6	男	75	有料老人ホーム	R6. 6. 5	男	89	医療機関
R6. 8. 28	女	77	自宅	R6. 6. 5	女	90	自宅
R6. 8. 28	女	83	自宅	R6. 6. 28	男	85	死亡
R6. 9. 27	女	87	医療機関	R6. 9. 5	男	101	死亡
R6. 10. 22	女	77	医療機関	R6. 10. 4	男	71	医療機関
R7. 1. 20	男	85	自宅	R6. 12. 11	女	87	医療機関
R7. 2. 27	女	91	老人保健施設	R7. 1. 17	男	83	死亡
R7. 2. 28	男	83	自宅				
R7. 3. 14	女	92	医療機関				
R7. 3. 19	女	81	自宅				
R7. 3. 24	女	96	自宅				

入所者状況

令和6年3月31日現在

【年齢状況】

	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	計	最高年齢	平均年齢
男 性	0	7	8	2	0	17	93 歳	81 歳
女 性	0	7	18	16	1	42	100 歳	87 歳
合 計	0	14	26	18	1	59	100 歳	85 歳

【在所年数状況】

	1 年未満	1 年 ～ 5 年未満	5 年 ～ 10 年未満	10 年 ～ 15 年未満	15 年以 上	計	最高在所日数	在所平均年数
男 性	3	6	7	1	0	17	10 年	4年5ヵ月
女 性	11	19	8	4	0	42	12 年	3年6ヵ月
合 計	14	25	15	5	0	59	12 年	3 年 10 ヲ月

【所管別状況】

	日向市	美郷町	諸塚村	延岡市	門川町	都農町	合 計
男 性	13	0	3	1	0	0	17
女 性	35	4	0	0	2	1	42
合 計	48	4	3	1	2	1	59

【要介護認定者の状況】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男 性	0	0	1	1	2	1	0	5
女 性	0	1	6	6	1	1	0	15
合 計	0	1	7	7	3	2	0	20

【移動状況】

	自 立	シルバーカー	歩行器	車椅子	杖	介助 (車椅子使用含)	合 計
男 性	9	0	3	0	2	3	17
女 性	15	5	10	4	6	2	42
合 計	24	5	13	4	8	5	59

【排泄状況】

	自 立	声かけ誘導	介助 (見守りを含む)	計	尿取りパット 使用	紙パンツ使用 (夜間のみ含)	合 計
男 性	10	3	4	17	1	7	8
女 性	32	1	9	42	17	11	28
合 計	42	4	13	59	18	18	36

【入浴状況】

	自 立	一部介助	全介助	見守り	合 計
男 性	4	9	3	1	17
女 性	9	26	4	3	42
合 計	13	35	7	4	59